



ぴっぴだより

お知らせ版

No.6. 2022. 8. 24

この夏はどんなことに心動かされましたか。どんなことを考えていましたか。どんな出会いがありましたか。子どもたちの変化はありましたか。子どもたちが居場所を拓げ、自分自身を拓げていく二学期。それぞれが出会ったこと、体験したこと、思いめぐらせたこと、出来るようになったこと、覚えた言葉…が集まって、ぴっぴの二学期が始まります。どんな日々になるのか、わくわくします。

二学期は、どんぐりさんもえりんこたいそうやちょこミックにデビューします。えりんこたいそうはバイブルメインホールで裸足で動きます。自分で脱ぎ着できるようにスタッフがサポートいたしますが、衣類へのご配慮をお願いいたします。

稲刈りに向けて忙しくなる時期です。早速、案山子作りもします。田んぼ・畑作業の日程は、お天気を見計らいながら黒板にてお知らせいたします。

入園希望見学や見学研修など、ぴっぴの森へのお客様も多い時期です。コロナ禍の中、ぴっぴの子どもたちを守ること、森の保育を守れることを丁寧に考えながら一つ一つ配慮しながら暮らしたいと思います。

：中澤真弓

●8月24日～9月30日の予定

24日（水） 2学期始業日 ぴっぴだよりお知らせ版配布

25日（木） 田んぼ保育（案山子作り）

・田んぼ集合解散です。

・雨天の場合はぴっぴの森の保育になります。当日、朝7時頃にご連絡いたします。

26日（金） くるみの日

27日（土） ぽろぴっぴ&お帰りの会&お帰りの会カフェ

28日（日） スタッフやまほいく研修会（飯綱）

29日（月） 色の時間（アートセット持参）

30日（火） 森の開放日

31日（水） 避難訓練

9/1日（木） おおくりじゃがいも堀り

・おおくりは畑集合、ぴっぴの森解散

2日（金） 森の開放日

スクールカウンセラー訪問日

3日（土） 2023年度入園説明会

森林のいきもの子育てばなし

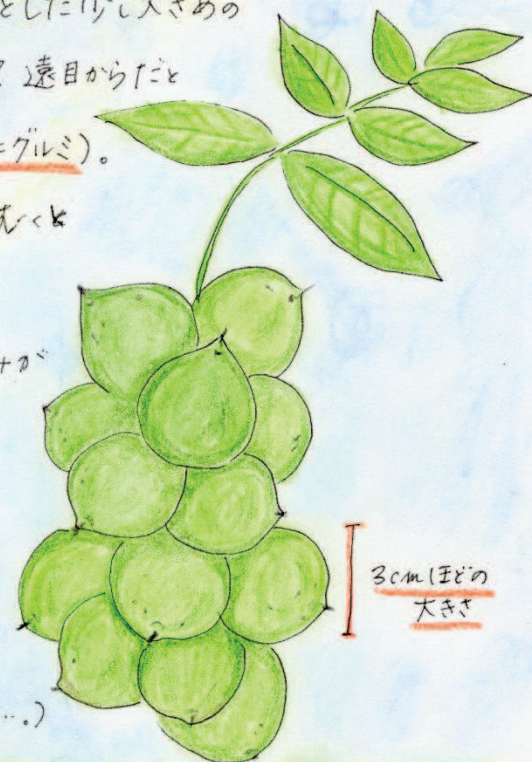
9月

夏の初め、子どもたちが手の平にちょうどおさまるくらいのこんとした少し大きめの緑の実をいくつも拾い集めて遊んでいたのをご存知ですか？ 遠目からだと梅?のようにも見えるその木の実の正体は『くるみ』(オングルミ)。

木の上ではぶどうの房のような形になっていて、緑の皮をむくと中におなじみの茶色いくるみの種の部分がみえてきます。

風などで自然に下におちることもありますが、青いくるみがおちていたのはおそらく...リスの仕事。房ごととろうとがんばって、うっかりとりそね、落下してパウパウに...

何度も練習すると上手にいくようになりますが、そんなことで初夏はおちているくるみが多い?のかも。夏の初め、緑の皮の中の種はやわらかいのですが、(子どもたちもつぶしてましたね...)



9月に入ると固くなり、殻を割るのにだいたい20分ほどリスは時間をかけています。でも栄養価が高く貴重な食糧なので、

そして固い殻のおかげで地面にうめたり、時間がたっても

中の実はフレッシュ。そんなことから、リスは冬に備えて

9~10月の間くるみを色々とこころへ貯蔵するのに大忙しなのです。

ところで、かくしてクルミ、リスは全てみつけて食べているのでしょうか?

ある研究で、下記のようなおもしろい結果がわかりました。

青い皮をむくと、中に固い茶色の殻があります。

自然に木の下におちてしまったクルミは芽生えることがもしてきても、太陽の光が

母親の元では十分に浴びられず、数年しか育つことができません。しかし、リスが運び(そして食べて)



65コ すぐ食べる

47コ 地面にうめる

44コ 木の上に隠す

残りはいせの生きものや食べたり粉分...

61コ リスが食べた

11コ 残芽



くれることによって親元とは違う生育環境で成長していくことができるようにしているのです。

私達の子育ても、そんなことが言えるのかもしれないな~。とくるみの実をみつけると想うのでした。
: 菜々良